

二〇〇六年三月議会 一般質問

06年3月14日(水) (一番目) 日本共産党 藤木くにあき

庄原選挙区選出の、日本共産党の藤木くにあきでございます。私は、市民のくらしを優先する市政を推進する立場から、市長ならびに教育長に、6つの項目について質問いたします。

質問の第1は、オフトーク通信の設置についてです。

1. 現在オフトーク通信は東城、西城地域で使われていますが、オフトーク通信とは、どのようなもので、東城、西城地域で、どのような活用がされているのか、答弁を求めます。
2. 私は、オフトーク通信が設置されていない庄原、口和、高野、比和、総領地域に、早急に設置すべきだと考えますが、市長は、どのようにお考えでしょうか。また、その場合、設置費用はいくらぐらいかかる見込みでしょうか、答弁を求めるものです。
3. 市民のみなさんから要望の多い、インターネットのADSLを、現在、利用することが可能な世帯は、市内全世帯の何割になるのでしょうか、答弁を求めます。
4. 市長が推進しようとしておられる、ケーブルテレビ事業は、70億円かかるとも80億円かかるとも言われています。今の財政状況を考えるなら、この事業は、凍結・再検討すべきだと考えますが、市長は、どのようにお考えでしょうか。答弁を求めるものです。

質問の第2は、産婦人科医師の確保の問題についてです。

1. 残念なことに、今年4月からの、庄原赤十字病院での出産医療の再開が見送りとなりました。そこで、お尋ねいたします。現在、県内14市で、出産できる医療施設が一つもない市は、どことどこでしょうか。
2. 県内14市の過去3カ年の平均出生数と出産に対応する産婦人科医師の数は、それぞれ、どうなっているのでしょうか。
3. また、市長は、出産医療の早期再開にむけ、今後どのようにとりくもうとしておられるのか、答弁を求めるものです。

質問の第3は、青年交流事業、エターン、Uターン事業の復活についてです。

- 1 人口の減少を少しでもくい止めるため、私は、青年交流事業、エターン、Uターン事業を復活させるべきだと考えますがどうでしょうか。
- 2 合併前の10年間、これらの事業の成果が、それぞれどうなっているのか、具体的な答弁を求めるものです。

質問の第4は、総合福祉センターの問題についてです。

- 1 総合福祉センターは、どうしても必要な施設だと考えますが、既存の施設、例えば、ふれあいセンターの増改築で十分対応できるのではないのでしょうか。市長のお考えを、再度求めます。
- 2 総合福祉センターには、300席のホールが必要だとされていますが、その根拠は何でしょうか。300人が利用する事業を、どの程度見込んでおられるのか、具体的な説明を求めるものです。

質問の第5は、保育料の軽減についてです。

- 1 少子化のもとで、育児に対する保護者の負担を少しでも軽減し、出産をうながすため、保育料を、第2子、第3子については、兄弟が同時に入所していなくても、軽減すべきだと考えますが、市長は、どのようにお考えでしょうか、答弁を求めるものです。

質問の第6は、小中学校の耐震診断結果と、今後の対応についてです。

- 1 今年度おこなった、小中学校の耐震診断の結果はどうだったのでしょうか。各学校について、古い建築年次順に報告を求めるものです。
- 2 耐震診断の結果にもとづき、今後、耐震対策を、どのような手順で、いつまでに完了しようとしておられるのか、答弁を求めるものです。特に建築年次の古い庄原中学校には、約600人の子どもが学んでおり、その生命にかかわる最も重大な問題です。市長ならびに教育長の明確な答弁を求め、私の質問いたします。